

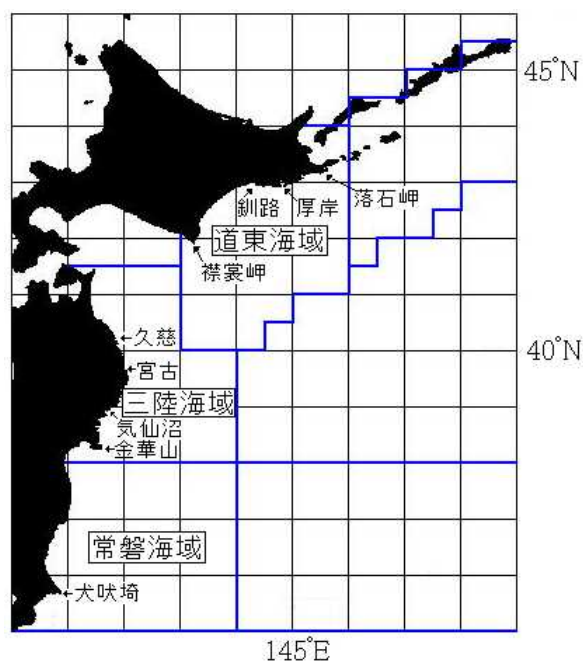
## 2021年度 第1回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

### 今後の見通し(2021年9月中旬～10月下旬)のポイント

#### 来遊量

- ・道東海域では、10月上旬になると来遊する可能性があるが、来遊量は少ない。
- ・三陸海域では、10月下旬になると来遊があるが、来遊量は少ない。



海域の名称

### 問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 水産情報部  
担当：渡邊、藤井  
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881  
当資料のホームページ掲載先URL  
<http://www.jafic.or.jp/information/category/news/>

# 2021年度 第1回サンマ中短期漁況予報

## 1. 今後の見通し

予測期間：2021年9月中旬から10月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

### 1) 道東海域

#### (1) 来遊量

8月下旬は、道東海域よりもかなり沖合の公海にしか魚群が分布していなかった。これらのことから、9月中旬～下旬は、道東海域への魚群の来遊は無い。道東海域よりも東沖の公海における来遊量は、9月中旬～下旬は低水準であるが、前年よりもやや多い。10月上旬～10月下旬になると、沖合から道東海域に魚群が来遊する可能性もあるが、来遊量は前年よりやや多いものの少なく、来遊は断続的である。多くの魚群は、道東海域よりも東～南側を南下し、道東近海に来遊する群は極めて少ない。

#### (2) 漁場

9月中旬～下旬は、道東海域には漁場は形成されず、主漁場は道東海域より東側の公海となる。道東海域では、10月上旬～10月下旬に、落石沖の沿岸から離れた沖合に散発的に漁場が形成される。

### 2) 三陸海域

#### (1) 来遊量

9月中旬～10月中旬は、来遊は無い。10月下旬になると断続的な来遊があるが、来遊量は前年同様、少ない。

#### (2) 漁場

10月下旬は、三陸海域に漁場が形成される可能性があるが、漁場は三陸沿岸から離れた沖合となる。

## 2. 予測の概要

海 域		9月中旬	9月下旬	10月上旬	10月中旬	10月下旬
道東海域	来遊量			— →	— →	— →
	動向			断続的	断続的	断続的
	漁 場			落石沖	落石沖	落石沖
三陸海域	来遊量					— →
	動向					断続的
	漁 場					三陸沖合

### 3. 漁況の経過概要（8月下旬）

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

今年は、前年同様、道東海域に漁場は形成されず、道東海域における来遊量は極めて少ない。

主漁場は、前年同期よりもやや西側であったものの、道東海域より東側の公海であった。1日1隻あたり最高で18.5トン漁獲した船もあったが、多くの船の漁獲量は少なかった。CPUE（1網あたりの漁獲量）は前年を上回ったものの、2019年より下回った。これらのことから、魚群は道東海域よりもさらに沖合に分布しており、分布量は前年よりも多いもののかなり少なかった。

##### (2) 漁場

道東海域に漁場は形成されなかった。主漁場は、道東海域東側の公海、落石東南東420～720海里であった。前年同様、漁場が遠いため、小型船の多くは出漁できなかった。

落石東南東420～500海里の漁場水温16～19℃では、大型船35隻程度と小型船数隻操業。大型船で最高18.5トン、平均3トン漁獲した。

落石東南東560～580海里の漁場水温16～18℃では、29日夜以降、大型船十数隻操業し、最高7.5トン、平均1.5トン漁獲した。

落石東南東600～660海里の漁場水温15～17℃では、大型船7～50隻程度と小型船が操業し、大型船で最高10トン、平均2.2トン漁獲した。

落石東南東700～720海里の漁場水温16℃では、22日夜に大型船十数隻操業し、大型船で最高1.2トン、平均0.5トン漁獲した。

##### (3) 魚体

道東海域よりも東側の、落石東南東420～720海里では、体長29～30cmモードであった。体重は90～120g台が主体であった。

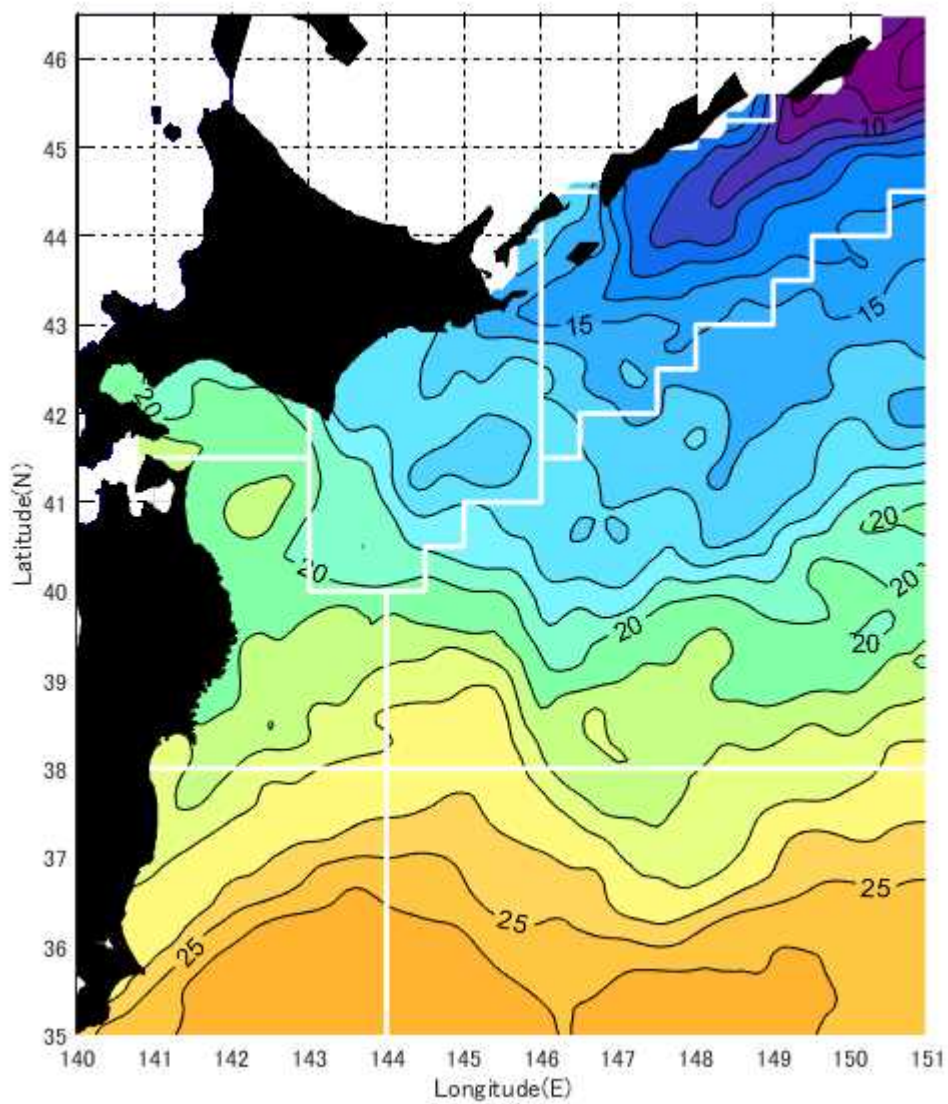
※常磐海域の予報については、第3回（9月29日発表予定）から行う。

#### ※サンマ中短期予報の作成方法について

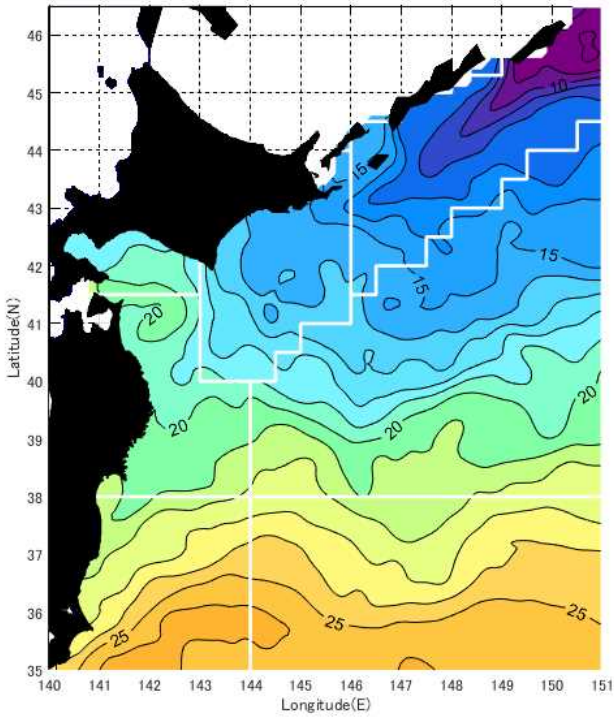
サンマ中短期予報は、数量化Ⅰ類を使用した予測モデルの結果を利用している。この予測モデルは、「予測を行う直前のサンマの来遊状況（今回の場合、8月下旬の海区別資源量指数）」と「予測海域の予測対象旬における表面水温の占有率（予測水温分布図から計算）」をパラメータとして使用している。予測水温分布図は、漁業情報サービスセンターが作成した海況図を用い、統計モデルを使用して予測した結果である。

#### 4. 予測水温分布図

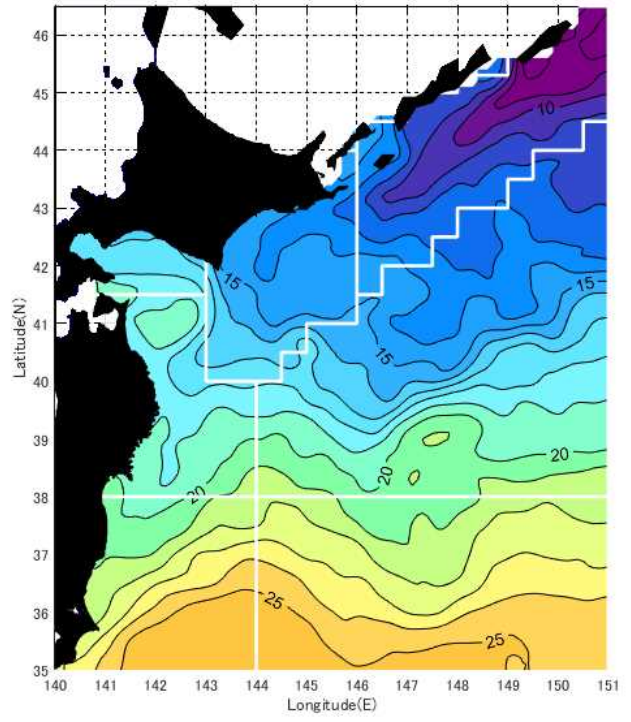
9月中旬予測表面水温分布図



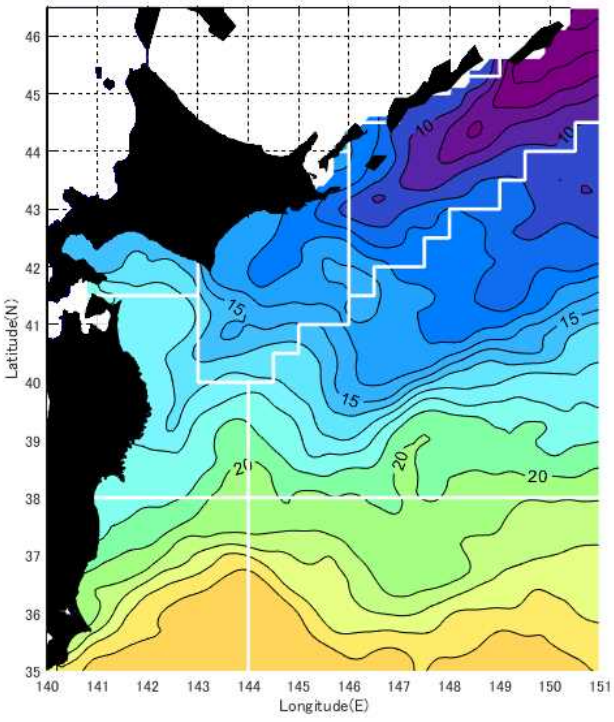
9月下旬予測表面水温分布図



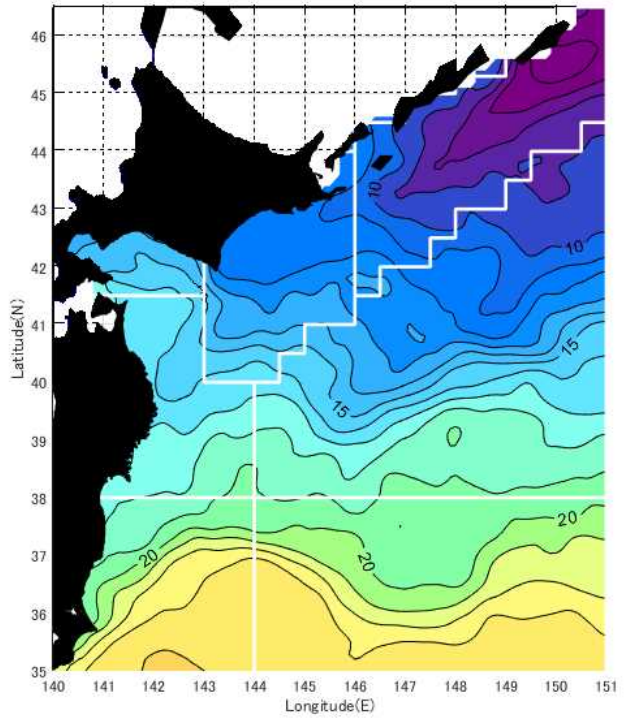
10月上旬予測表面水温分布図



10月中旬予測表面水温分布図



10月下旬予測表面水温分布図



## 参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	---